

# 新化ビョー

## 神野直彦・関西学院大学教授に聞く 日本、社会保障はどこへ

新自由主義の「構造改革」路線が破たんし、新政権が誕生した。激動の時代の中で日本がどこに向かい、そして社会保障はどうあるべきか。「構造改革」を批判し続けてきた神野直彦氏（関西学院大学教授）に聞いた。（編集部）

### こぼれ落ちない富

「構造改革で、医療は崩壊に瀕し、国民生活は危機に陥っている。自公前政権が進めた「構造改革」は何だったのか。「構造改革」が、格差や貧困がふれ出している今日の状況を招いた。

「大きな政府」のスイェーデンやドイツと比較（表）すると、「構造改革」の成果がよく分かる。「小さな政府」にするに経済成長する、と良く言われる。2001年〜06年の経済成長率をみると確かにアメリカは3.0%と伸びている。しかし、

「新自由主義者は、景気悪化を『構造改革』が中途半端に終わったからだ」と主張している。宗教と同じで、景気が上向けば「改革」の成果で、失敗したら信仰心が薄いからだと言う。彼らは「市場の神様に信仰が薄いとそういうことになるんですよ」と言っている。すべてを市場に委ねるという考えだ。

「市場には神様がいて、よく民主的に成長戦略がない」と指摘するが、彼らがやってきたことは「改革」でも何でもない。「規制をやめろ」といって、市場には神様がいて、よく民主的に成長戦略がない」と指摘するが、彼らがやってきたことは「改革」でも何でもない。「規制をやめろ」といって、市場には神様がいて、よく民主的に成長戦略がない」と指摘するが、

「市場には神様がいて、よく民主的に成長戦略がない」と指摘するが、彼らがやってきたことは「改革」でも何でもない。「規制をやめろ」といって、市場には神様がいて、よく民主的に成長戦略がない」と指摘するが、

## すべてに失敗した「構造改革」

### 現物給付で福祉の再編成を

小泉政権を支えた竹中平蔵氏の理屈は、トリクルダウン理論と言った。豊かな者がより豊かになれば、貧しい人に富が自動的にこぼれ落ちるといふものだった。例えば、人間の消費欲求には限りがあるので、ある程度満たされれば自分の使

日本はいざなぎ景気を超える経済成長を持続していた時代にもかかわらず、1.4%と国際的に

はなかなか難しいが、それを見事にやってのけたのが日本だ。これが「構造改革」の結果である。

「構造改革」の結果である。日本はいざなぎ景気を超える経済成長を持続していた時代にもかかわらず、1.4%と国際的に

「構造改革」の結果である。日本はいざなぎ景気を超える経済成長を持続していた時代にもかかわらず、1.4%と国際的に

### ゆらぐ民主主義

「昨夏の総選挙で政権交代が起き、『構造改革』から転換の兆しが見え始めている。新政権の政策をどうみるか。

「昨夏の総選挙で政権交代が起き、『構造改革』から転換の兆しが見え始めている。新政権の政策をどうみるか。

「昨夏の総選挙で政権交代が起き、『構造改革』から転換の兆しが見え始めている。新政権の政策をどうみるか。

### 悲しみを分かち合う

「新しい社会を模索する中で、社会保障はどこに向かうべきか。

「新しい社会を模索する中で、社会保障はどこに向かうべきか。



じんの・なおひこ 1946年生まれ。東京大学大学院経済学研究科・経済学部教授を経て、2008年より関西学院大学人間福祉学部教授。東京大学名誉教授。財政学・地方財政論。総務省地方財政審議会会長。著書に『人間回復の経済学』（岩波新書）、『財政学』（有斐閣）ほか。

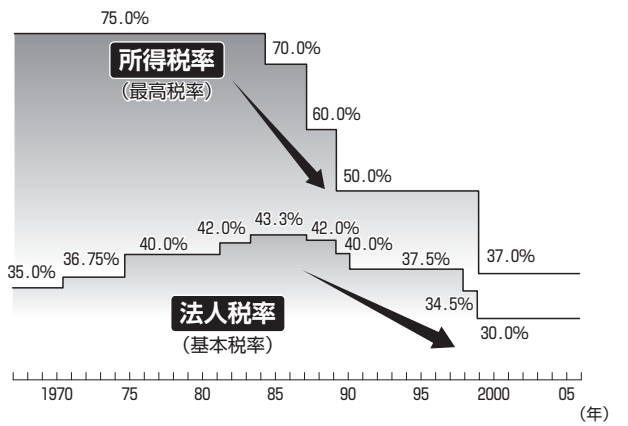
### 市場の信仰の愚

「市場には神様がいて、よく民主的に成長戦略がない」と指摘するが、彼らがやってきたことは「改革」でも何でもない。「規制をやめろ」といって、市場には神様がいて、よく民主的に成長戦略がない」と指摘するが、

「市場には神様がいて、よく民主的に成長戦略がない」と指摘するが、彼らがやってきたことは「改革」でも何でもない。「規制をやめろ」といって、市場には神様がいて、よく民主的に成長戦略がない」と指摘するが、

「市場には神様がいて、よく民主的に成長戦略がない」と指摘するが、彼らがやってきたことは「改革」でも何でもない。「規制をやめろ」といって、市場には神様がいて、よく民主的に成長戦略がない」と指摘するが、

法人税率と所得税最高税率の推移



政府の大きさと経済的パフォーマンス

	政府の大きさ (社会的支出 GDP比)	経済成長率 (01-06 平均)	格差 (ジニ係数)	貧困率 (相対貧困率)	財政収支 (01-06 平均)
アメリカ	14.8%	3.0%	0.357	17.1%	△2.8%
ドイツ	27.4%	1.2%	0.277	9.8%	△2.7%
スウェーデン	29.8%	2.6%	0.243	5.3%	1.4%
日本	16.9%	1.4%	0.314	15.3%	△6.7%

(注) 政府の大きさは2001年、格差は2000年、貧困は2000年のデータに基づく。財政収支と経済成長率は2001年から2006年までの平均。(出所) OECDの資料に基づいて宮本太郎北海道大学教授の作成した資料より神野氏作成